

頭から足までの動脈硬化性病変に対応 「医翔会南郷18丁目クリニック」開設



脳神経外科や循環器内科など、各科専門医が連携し、あらゆる急性期疾患に対応すべく、最新の治療を提供。また、脳卒中・循環器病対策基本法第2次計画に則り、救急医療体制のみならず、情報通信技術を活用した院内体制の整備や、患者をサポートするための相談窓口の整備などにも取り組み、「周辺住民の皆様の安心な生活を支えられるよう、日々努めてまいります」と話す野中理事長



①CT画像も撮影可能な最新機種を含め血管造影装置(DSA)3台、3T(テスラ)MRI、64列マルチスライスCTなど各種検査機器がそろう

②新棟3階に血液浄化センターを開設。水源地通りに面した地下鉄東西線南郷7丁目駅から徒歩5分の場所にあり、交通アクセスは抜群。医翔会南郷18丁目クリニック(白石区南郷通18丁目北1-20)とは無料循環バスを運行するのでアクセスはさらに便利

「いのちと向き合う、ここへと向き合う」をモットーに、「頭から足先の先まで、動脈硬化性病変を治療する病院」として地域医療に貢献する札幌白石記念病院。

脳疾患部門は、脳血管内治療に熟練の技術を持つ野中雅理理事長、大坊雅彦名誉理事、瀧上真良理事、稲村茂副院長、恩田敏之脳血管内治療センター長、高橋賢脳卒中センター長、倉内医師の専門医7人体制で、脳梗塞急性期における再開通療法、脳動脈瘤にはコイル塞栓術に加え、全国的に主流になりつつある「フロライバーター留置術」などの最新治療を行う。

循環器疾患部門は、難治性不整脈治療が専門の宮本憲次郎院長代理、森田亨副院長、中川敬太心血管カテーテル治療センター長、本谷医師、大江医師の専門医5人が心臓と末梢の血管病変に対する総合的な治療を行う。さらに24ヶ月より院長に就任した道井洋吏副

理事長、内山医師の専門医2人の心臓血管外科チームも連携し、あらゆる急性期患者に対応。

20年に開設した血液浄化センターでは、山本論血液浄化センター長を中心に、透析治療が必要な脳血管に疾患を持つ患者や、脳血管障害を発症した透析患者の人工透析にも対応。リハビリテーション部門では、早期退院に向けた入院早期からのリハビリ、通所リハビリや訪問リハビリ、心大血管リハビリにも力を注ぎ、22年には回復期リハビリ病棟を開設。急性期から回復期、在宅まで医療・介護の切れ目のない支援を行っている。

また、23年8月に紹介受診重点医療機関の認定を受け、外来医療の機能分化と、同院をかりつけ医とする患者のサポートのため、24年7月1日に「医翔会南郷18丁目クリニック」を開設。近隣クリニックとの医療機器の共同利用など、地域との連携強化も図る。

脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科(人工透析)・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科(長堀か女子)

社会医療法人 医翔会

札幌白石記念病院

☎011-863-5151

札幌市白石区本通8丁目南1-10

<https://www.ssn-hp.jp/>

診療時間／

月～金 9:00～12:00(受付 8:40～11:30)
13:00～17:00(受付11:30～16:30)

(急患応需)

休日／土曜・日曜・祝日・年末年始

最寄りアクセス／

中央バス・JRバス本通8丁目停留所から徒歩1分、

地下鉄東西線南郷7丁目駅から徒歩5分

JR白石駅、地下鉄南郷7丁目駅・月寒中央駅・福住駅発の無料送迎バスを平日運行



理事長
野中 雅氏

1985年札幌医科大学卒業。
札幌医大脳神経外科入局。
2009年白石脳神経外科病院副院長、12年より院長、14年より理事長。日本脳神経内科学会・日本脳神経血管内治療学会各専門医ほか